

研究課題名	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）がインシデントへ与える影響に関する研究
	インシデントとは：患者様の心身に不必要な障害および傷害を及ぼした可能性があった、または実際及ぼした事象、状況の総称。
研究の意義・目的	全世界的な COVID-19 感染拡大とともに、人類は心理的、社会的、経済的なダメージを受けています。そのような状況下において、COVID-19 患者様の受け入れ施設では院内感染対策、診療体制、病棟編成やルールの変更などを余儀なくされ、感染拡大前の通常診療時とは異なる対応を求められ続けています。医療従事者は、自身が感染しないよう最大限注意を払いながら患者様対応を行っていますが、いつ自身が感染するかもしれないという不安が常にあり、また、自身が感染した場合、他の医療従事者や患者様への感染拡大の危険性や、自身、家族や関係者への誹謗中傷などが懸念されるため、心理的に非常に不安定な状態で業務を行っています。そのため、COVID-19 患者様受け入れ後は、医療安全面において影響が出るのが予測されるが、それについて明らかにされた報告は見られません。そこで、インシデントレポート（患者様の心身に不必要な障害および傷害を及ぼした可能性があった、または実際及ぼした事象、状況に関する報告）および診療情報データを用いて、COVID-19 が医療安全に与える影響について解明することは、安全な医療の醸成に有意義と考えております。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～ 2022 年 3 月
研究協力をお願いしたい方（対象者）	2019 年 4 月～2020 年 12 月に大阪市立大学医学部附属病院に入院された方、COVID-19 と診断された方、または COVID-19 疑いとされた方、また、インシデントレポート報告を行った職員が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 患者基本情報：年齢、性別、診療科、入院病棟、入院日、退院日 病院情報システムデータ：看護必要度、医師の指示データ インシデントレポート：影響レベル、分類、発生日時、発生部署、職種、レポートの内容、発生要因
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪市立大学医学部附属病院医療の質・安全管理部のみで行い、他の施設に試料・情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪市立大学医学部附属病院医療の質・安全管理部のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学医学部附属病院 医療の質・安全管理部 研究責任者：川口 博資
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません
連絡先	大阪市立大学大医学部附属病院 医療の質・安全管理部 （担当者氏名）川口 博資 電話番号：（06）6645-2771 メールアドレス：hkawaguchi@med.osaka-cu.ac.jp